

(科目コード : 8911520156AE)

【改訂】第7版(2018-04-18)

【科目】環境工学特別研究I

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】通年・3単位

【対象学科・専攻】環境 1年

【担当教員】前期：  
後期：友坂 秀之

【授業目標】

研究課題および、その基礎となっている背景を体系的に正しく理解できる。  
研究課題の遂行に必要な実験的手法、解析的手法、数値的手法、資料・文献調査などの方法を理解し、運用できる

- 得られたデータをまとめ、解析することができ、結果について合理的な説明ができる。
- 研究課題に関わる英語の文献を読むことができる。
- 研究発表会などの場で、自分の研究内容およびその結果を、相手に分かりやすく話すことができる。
- 報告書などの作成において、その構成や文章表現が適切にできる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は101.25時間である。

- ・建設工学、都市工学、衛生工学、物質工学、工業化学、材料工学、生物化学、化学、生物学など環境工学に関する特別研究である。
- ・正副担当教員の指導の下、上記の分野およびその関連分野に関わる研究課題を、実験的手法、解析的、数値的手法、あるいは、調査、討論などによって解明する。
- ・研究成果は年度末に行われる特別研究I発表会で報告しなければならない。
- ・特別研究I発表会にあたっては、特別研究I発表会講演予稿集を作成する。

【教科書・教材・参考書等】

各担当教員の指示による。

【成績評価方法】

[前期]年度末に評価を行う。

[後期]理解度・取り組み・達成度(70%、指導教員による評価)、プレゼンテーション(特別研究I発表会)(30%、内訳：指導教員20%、外部10%)

【達成目標】

達成目標	割合	評価方法
1 研究課題、および、その基礎となっている背景を理解し、課題遂行に必要な実験的手法、解析的手法、数値的手法、資料・文献の調査法を身に付け、運用できる。また、合理的な説明ができる(学習教育目標Dに相当)。	70 %	日常的な取り組み、報告書・論文集等の内容、発表会における発表や質疑応答の内容により総合的に評価する。
2 研究発表会等の場で自分の研究内容、およびその結果を相手にわかりやすく伝える。また、報告書等の作成において、その構成や文章表現が適切にできる(学習教育目標Eに相当)。	30 %	発表会におけるプレゼンテーション、報告書・論文集等により総合的に評価する。

【本校の学習・教育目標】

- (D-1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、創造性を発揮して現実の技術的課題の解決に応用できる
- (D-2) 技術的問題解決のために必要な情報を収集し、解析するための情報処理技術及び工学的ツールを活用できる
- (D-3) 実験・実習科目の修得を通じて、自主的、継続的、そして計画的に学習できる能力を獲得する
- (D-4) 設定された目標に対し、互いに連携を図りながら目標達成に向けた行動ができる
- (E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【授業計画】(環境工学特別研究I)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1年	【環境工学専攻特別研究I課題：担当教員/副担当教員】	担当教員(正副)の計画にしたがって、テーマごとに行なわれる。研究成果は年度末に行われる特別研究I発表会で報告する。特別研究I発表会にあたり、特別研究I発表会講演予稿集を作成する。 以下担当教員(正副) ===== 太田 道也 工藤 まゆみ 先村 律雄 鈴木 一史 平 靖之 辻 和秀 友坂 秀之 中島 敏 永野 博之 藤重 昌生 堀尾 明宏 宮越 俊一 宮里 直樹 森田 年一	担当教員(正副)の指導のもと、随時レポート等の報告を行う。	